

2018年7月3日

馬場馬術競技会における注意事項（鼻革のチェックについて）

スチュワード及び選手の皆様へ

馬場馬術本部
スチュワード部

馬のウェルフェアのために、従来も目視による「鼻革のきつき」についてチェックが行われてきましたが、FEIより鼻革のチェックを徹底するよう通知されましたのでお知らせ致します。馬場馬術公認競技会での徹底をお願い致します。

演技終了後に、馬が定められた馬装チェックエリアに到着するまでは、選手及びその馬の関係者がスチュワード（以下 STW）の許可無しに鼻革を緩めることや、イヤーフードを外すことはできません。そして STW の立ち会いのもと、鼻革を緩めたり、イヤーフード等を外したりするのは選手及びその馬の関係者となります。STW チェックの際は、まず鼻革がきつく締められていないかを STW が鼻梁（びりょう）に指を入れて確認します。この際、STW は使い捨て手袋をはめ、指が1本入ることを確認します。可能な限り同じ STW が実施することが求められます。その他、馬装のチェック・出血の有無も確認します。

同様に、練習馬場での準備運動においても、鼻革がきつく締められて馬のウェルフェアに反していると思われた場合は、STW による鼻革のチェックを行なうことができます。そして鼻革がきつく締められていた場合は、緩めてもらいます。

そして当該馬が演技終了後の鼻革チェックで再度きつく締められていた場合は、チーム STW から選手へイエローカードを出すことができます。

STW による鼻革チェックの徹底をお願いすると共に、選手及び関係者の皆様も馬のウェルフェアのために、ご協力をお願い致します。